

協力: 風早活性化協議会

# オオキチくん通信

2020年5月号

発行: NPO法人森からつづく道

URL: <http://morimichi.org/>

★上記HPからダウンロードできます

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて作成しています。



オオキトンボは今、ため池で、幼虫(ようちゅう)の時期(じき)をすごしています! 卵からかえったばかりは、とてもちっちゃくて、1ミリくらいけど、がんばって大きくなるぞ!

## オオキトンボの一生(いっしょう)

北条地域で見られるオオキトンボは、ため池や高縄山(986.0m)、草むらなど、季節によっていろいろな場所で生活しています。1匹のメスは何千個も卵を産みますが、成虫になることができるのはたった数匹のようです。

すべての成虫が死んでしまう【12月】

卵(たまご)【9月~次の年の4月】

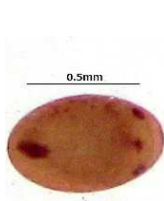
幼虫(ようちゅう)【4月~8月】

羽化(うか)【6月~8月】

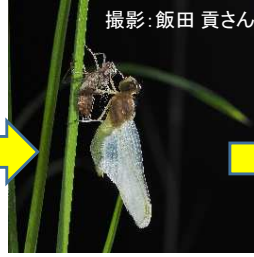
羽化したばかりの成虫(せいちゅう)



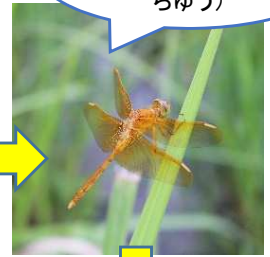
撮影: 高橋賢悟さん



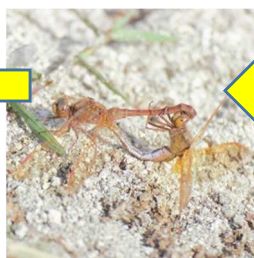
撮影: 久松定智さん



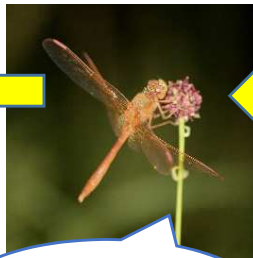
撮影: 飯田 貢さん



産卵(さんらん)【9~11月】



交尾(こうび)【9~11月】



ため池の近くの草むらで夜をすごす



ため池にもどる【9月】



山に上がってあつさをしのぐ【6月~9月】

(武智礼央)

## かしわもちの葉ってなんの葉?

5月: 端午の節句(たngoのせっく)といえば、かしわもち(しばもち)! 使われている葉に注目(ちゅうもく)! !



サルトリイバラ

ナラガシワ

かしわもちに使われる葉は、もともとはカシワだけど、愛媛県にはカシワが津和地島(松山市)、青島(大洲市)、戸島(宇和島市)にしかないの、かわりにサルトリイバラやナラガシワなどが利用されています。葉が大きくて「ツルツル、テカテカ」で葉にもちがくつかないことが条件(じょうけん)のようです。最近では、中国産や韓国産のものも使われているそうです。スーパーや道の駅などで売られているかしわもちの葉に注目してみてください。おいしく食べながら葉も観察しましょう。

## あのムシは今?! 【キムネクマバチ】



ツツジやノアザミ、フジなどの花が大好き。蜜(みつ)や花粉(かふん)集めでいそがしく飛び回っています。オスはなわばりをつくりまします。見た目や名前よりおとなしいハチですが、メスはさすので素手(すで)ではつかまえないでください。英語の名前は carpenter bee (大工バチ)。

## まつぼっくりコレクション \*テーダマツ\*

アメリカ生まれで、高さは最大で30mにもなるマツです。まつぼっくりも7~15cmくらいと大きく、落っこちてきたものに当たったらいたそうです。県内でも公園やゴルフ場に植えられています。





